

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>情報の共有化について、私たちの班では、主に技術的な面からの議論が多かった。大きく挙げると、部・課のHPの整備や、検索エンジンを高度化する等である。仕事の基本として、横の関係も大切にし、コミュニケーションを積極的に図るということは、基本的なことであるが、それだけでは他の部署がどのようなことをしているのか把握するのは難しい。仕事が多様化したとはいっても、直接的に自分の業務に関係する他部署は限られているからである。</p> <p>しかし、常に関わっているわけではないが、ある業務について、どこに依頼するのか、どのような業務を行っているのか、概要を知ることが、大学の中での自分の位置づけを知る上においても、重要であり、また便利であるので、上記のような案が出た。</p> <p>「情報の共有化」の方法にはメールより電話、わかりやすいマニュアル、足を運ぶ等のソフト面、システム的なハード面いろいろな案が出たが、すべてに共通していることは、他の人を考えて、他の人がわかりやすいような方法で仕事をしていくことだと思う。これくらいわかるだろう、という自分本位の仕事のやりかたではなく、他人目線（本位？）の仕事のやりかたに心がければ、自然と情報の共有化が図れるのかもしれない。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>普段は目の前の業務に追われなかなかこのようなことを考えないので、問題を提議してもらおうということで、とても有意義な時間が過ごせたとし、自分の仕事のやりかたを振り返ることができた。</p> <p>また、いろんな部署の人との交流ができたので、それぞれの悩み、得意としていること、業務がうまく遂行できていること等聴けて新鮮だった。</p> <p>やはり、時には目の前の業務から少しはなれ、自分の業務、他の業務、大学全体のことを、じっくり腰を据えて考えることができ、いい機会だと思う。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>特に希望はありません。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>今回、情報の共有化というテーマが掲げられ、改めて参加者みなさんと考えてみて、仕事のマニュアルなど、実際に使用している共通の情報（ツール）は豊富にあっても、人間同士、コミュニケーション不足により活用が出来ていない部分があることが分かりました。</p> <p>今後、仕事を円滑にすすめる為にも、基本的な挨拶から始まり、連絡や報告をこまめにして行く事も重要だと考えました。</p> <p>実際、電話では話していたのに、直接会って話したのは1年近く経ってからというような事もあり、いかにツールに頼っているかということを感じた事があります。今後は出来る限り、学びのひろばのような場に参加し、コミュニケーションをはかって行きたいと思います。</p> <p>また、さまざまな意見は出ましたが、共通していたのは、今後、情報の共有化を大学の発展にどのように役立てるかを皆さん真剣に考えていた点です。</p> <p>そのような共通意識を持たれていることに感動し、自分自身も見習うべき点と思いました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今後も、職員全体が気負わずに参加できる場を作って頂けたらと思います。</p> <p>また、今回、少し時間が長いようなお話も出ていました。</p> <p>業務時間内で開催される際には、少し短縮して、頻度を多くする等、ご検討頂けたらと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>勤務時間内であれば、いつでも可。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>今回初めて「学びのひろば」に参加いたしましたが、常勤・非常勤の区分がなく対等な立場でのディスカッションだったので、とても有意義でした。また通常の業務内では関わることのできない方々と交流ができ、電話での会話しかしたことのない方々とお会いすることができとても有意義でした。</p> <p>仕事を円滑に進めるためには、まず個々人が働きやすい環境を作ることが大切です。そのためにはメール等のツールに頼らずに率先してコミュニケーションを取り、人間関係を築くことができる。そして、同僚が助けが必要な場合には手を貸し、自分が助けてもらいたいときにはフォローしてくれるよい関係を気づけると思います。</p> <p>最後にメールなどのツールに頼らずに、人脈の幅を広げれば自然と「情報の共有化」の幅が広がり次のステップへ進めると考えます。横浜国大で勤務している一員として、意識を持ち、一人ひとりが大学の改善を意識し、長所を伸ばしていけるようになれば、より素晴らしい国際的な大学へ成長すると思います。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回多くの方々が参加され、他部局の方と交流をすることができた貴重な時間でしたが、忙しいなか2時間30分という貴重な時間を費やしたのは利益のほうが大きかったのかと疑問に思いました。第2回の学びのひろばということですので、今後どのようなことをすればよりよい横浜国大になるかを発見するよい機会だと思しますので、全学で是非この機会を活用できればと考えます。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>勤務時間内</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>大学としての方針を共有し、職員同士のコミュニケーションを行い働きやすい職場作りをするという意見があり、情報の共有化の重要性を感じた。</p> <p>6班や7班で出た、職員総覧があれば職員の顔と名前が一致でき、非常に便利だと感じた。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>企画課の岸さんや理工学部設置準備室の片平さんのメールにもあるように、「学びの広場」が議論のみで終わらず、大学全体に浸透してほしい。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>月曜日以外</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>今回が初めての参加でしたが、とても有意義な時間を過ごせました。特に、他部署の大先輩方とお話する機会に恵まれ、大きな刺激をいただきました。</p> <p>また、参加人数が多かったことや、様々な部署・立場の（役職や雇用形態も含む）方々が集まったことで、職員としての一体感を少なからず感じる事が出来た様に思います。</p> <p>班での議論では、「情報」と一言で言っても、実務では多種多様なものがあることが分かり、情報の「定義」が定まらず、結論も大きな視点にならざるを得なかったように感じました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>自分が所属している部署と他の部署とで新しいことを創めたいときや、既存の業務方法を改善したい場合、業務方法や対応方法を全学として統一したい場合などに、通常業務をこなしながらでは大変苦勞します。新しい発想や意見がいくら提案されても、なかなか実務に反映されない理由もそこにあるように思います。そこで、学びのひろばで提案された意見（なるべく個別・具体的な意見が多かったもの）を実現するために、橋渡しをする部署や組織があっても良いと思い、ぜひ学びのひろばにその役割を担っていただけたらと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>申し訳ないのですが、曜日・時間などを特定することが出来ません。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務では係わることのない他部署の職員から、いろいろな話や意見を聞くことができ、よい刺激になった。 ・ 全学から所属を超えて、また常勤、非常勤を問わず職員が集って業務に関する意見を交わすことは、本学の職員としての一体感の醸成に役立つのではないかと感じた。 ・ 情報の共有化というテーマは、広くとらえることができ、業務の上でも様々な状況が考えられるので、意見が百出した。まとめるのが難しかった。
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特になし。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>特定の曜日、時間なし。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>電話、メール等はやりとりをしているけれども顔をあわせたことのない方々と会える、貴重な機会だと思いました。また、普段、日常業務におわれて、じっくり考えることのできないことを考えられる、という意味でも良い機会だと思いました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>様々な職種の方がいるグループで討議する会と、同種の業務に従事している方のグループで討議するがあったらいいなと思いました。また、主任以下限定の会のような会を開催したら、それはそれで盛り上がるのでは？と思いました。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>月曜日は会議が多く、木曜日の午前中も打合せが入ることが多いです。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事は1人ではできるものではありませんので、様々な方とコミュニケーションをとってお互い効率よく気持ちよく働くためにも情報の共有化は必要だと思いました。 ・普段業務で接点がない方ともお話しできて楽しかったです。
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの広場も情報の共有化の1つではないかと思いました。このような機会があれば、これまで接点のなかった方ともお話しができ、業務のすすめ方の参考になるとと思いました。多くの方々に参加していただきたいと思いました。
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火曜日・木曜日

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>① 第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>業務において、今まで、あまり関わることのなかった部局の総務係や会計係の方ともお話をする良い機会になりました。</p> <p>また、普段業務で係っている係の方でも、こういった場でお話をすると、印象が変わり、とても新鮮でした。</p> <p>情報の共有化について、ディスカッションした結果、グループの結論は、業務として情報を共有するシステムを作ること、仕事以外の人間関係を築くこと、という二点にまとめられました。</p> <p>また、人前で話すのが苦手だったので、発表者となった時には非常にあせりましたが、グループの方々が発表のためのまとめを、丁寧にやってくくださったので、それが非常に助かりました。</p> <p>今回の、学びのひろばは、上記の「仕事以外の人間関係を築く」という点においても、非常に、有意義な時間でした。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>ディスカッションの際に名札がない方がいたので、座席表を手持ちのメモで作りました。可能であれば、名札は必携がいいです。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>火曜日、水曜日、木曜日の午前。 (窓口が混み合わないため)</p> <p>また、時期としては、月の半ばがいいです。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>私は現在所属している学生支援課、以前所属していた企画課、共に他部局等にアンケートを依頼したりデータを照会したりする業務に携わることが多かった。しかし照会先から稀に「以前〇〇課にも同じような回答を出しています」といった内容の返答が寄せられることがある。照会するこちら側が、今までどこでどのような調査物が行われてきたのか、またどこの部署でどのデータを管理しているのかなどを調べてから他部署に依頼することができれば良いと思うが、それは現状では容易でない。しかし、他部署に知り合いや顔見知りがいるだけで調査物の情報が集めやすくなったりすることがある。そのようにして、職場での円滑な人間関係を築くことによって、業務の効率化を図ることができる。良好な人間関係が築かれていれば、職員個人のモチベーションの向上にも繋がると思う。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>要望というか感想になってしまいますのですが、第1回の学びの広場では、話し合いを通してたくさんの人のお話を伺うことはできたが個人間で「会話」をすることはほぼ無く、一人ひとりの発表のようになって、同じグループになった人の顔を覚えることはできてもお話をすることはできなかった。しかし第2回の学びではグループ作業や休憩の時間があり、その時間に少しではあるが同じグループの方々と個人的にお話をすることができた。その点において今回の学びは有意義なものであった。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>月の半ば</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>普段、地理的にも他の部署と離れ、仕事の面でも関係する部署が限られているので、「学びのひろば」に参加すること自体が「情報の共有化」に役立ちました。</p> <p>最近、情報を共有するうえで、まずは自分が発信することが大切だと感じるようになりました。どうしても係外からの情報が届きにくい状況がありますが、「聞きたいこと」「話したいこと」を発信すれば必要な情報を得ることができます。今回話し合ったことを心に留めながら、能動的な情報共有を目指していきたいです。</p> <p>また、私の所属した2班では、情報基盤センターの技術職員の方がいらしたこともあり、話し合いの前提として「情報」と聞いて何をイメージしているかというところから話が始まりました。そういったテーマは、所属や役職、職務経験に関係なく、個人の意見を聞くことが出来るので、非常に興味深かったです。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>職務の傍ら、職員のために貴重な機会を作っていただき、ありがとうございます。</p> <p>次回以降、時間を1時間～1時間半程度にさせていただけると助かります。参加することによって残業時間が増えてしまうのは、業務の効率化としても良くないですし、結婚や子供のいる女性にとっては参加のハードルになるのではないのでしょうか。(9月は比較的業務に余裕があるのでこの時間でも良いかと思いますが。)</p> <p>開催時期によって時間を変えるなど、検討していただけるとありがたいです。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中 等</p>	

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>今回各班から出たように、殆どの方が同じような考えを持っているのだと実感しました。皆が同じ想いで愛学心を持ち、手段はどうあれ大学を良くして行こう（働きやすい環境を作っていこう）という同じゴールに向かえば、必然的にどうにか良く変わっていくのではないかと思います。</p> <p>情報の共有化とは言っても無意味な情報の共有は必要ないと思うので、担当部署を明確にし、情報を一元化した上での共有は必要なのではないかと思いました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特に要望はないですが、気軽にしゃべるといような広場にはなっていないような気がします。まず申し込みをして、述べられた意見をきれいにまとめて・・・と、いつものように形式ばったものにしてしまうと、せっかくの「学びのひろば」もそのまま終わってしまう気がします。話し合われた内容がどうなっていくのか、又どうするのが一番大事だと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>特になし</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば」情報の共有化」についての感想</p>	<p>普段は関わりのない人たちとの議論ができて、貴重な時間だと思いました。</p> <p>なぜ情報の共有化が必要かということでは、仕事の効率的に進めるため、また窓口や電話対応等で学生や外部の方への組織としての印象を損なわないために必要という部分が共通の意見でした。ただ、参加者一人一人の仕事での具体例を挙げてみると、思っていることや困っていることはたくさん出てくるけれど、それへの対応案はなかなか出すことはできませんでした。</p> <p>しかし、その中でも、なるほどと思えるものもあり、私も取り入れてみようと思う意見もありました。他の班の発表の中では、1班のサイボウズをツイッター化するという案が、私では思いつかずとても印象的でした。</p> <p>なお、今回残念だったのは、上にも書きましたが、同じ班の方々の仕事内容が私とは関わりがなさ過ぎたため、具体的な話になるとついていくことができず、聞いているだけになってしまったことです。当たり前ですが、まだまだわかっていないことが多いと実感させられました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今の仕事では見えない部分のことがわかったので、今後もこのような機会を作っていただければと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>自分の仕事に影響のない日であれば、時間等は問いません。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>日頃の体験談を踏まえてのディスカッションが行われたことにより、各課・係で抱えている問題について話しを聞くことができた。 業務内容が違っていても同じような問題を抱えていたり、業務特有の問題があったりと様々ではあるが、情報の共有化を図るためにお互いが意識してコミュニケーションを取ることの重要性は共通しているようであった。また、問題の解決を図るために工夫している係等もあり参考になった。今後自身の業務にも役立てていきたい。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>誰でも気軽に積極的な参加ができるよう、分かりやすく魅力的なテーマを提示していただくと共に、常勤・非常勤を問わず、大学職員同士交流を図れる場であることに重点を置いて、この学びのひろばを運営していただければ幸いです。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>不定期な業務が多く、その都度日程調整をしているため、参加しやすい曜日・時間というのは特にはない。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>業務によって情報の活用の仕方は違っていても普段課題とと思っている内容は共通しているものが多い事が分かり、それについての意見交換が出来て勉強になりました。発表では班の中での意見交換とはまた違う方向からの意見があり、テーマに関する色々な考えを聞くことが出来たと共に、グループ討議の面白さを感じました。</p> <p>意見で出された具体策でまずは自分の周辺で可能な事からでも実行したいと思います。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回初めて参加しました。大変有意義でした。</p> <p>参加前2時間半は長いと思っていましたが、丁度よかったです。</p> <p>今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p> <p>議題を前回の内容を受けて、とする場合でテーマが広義の場合は前回意見の紹介があるといいと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>「情報の共有化」というテーマにひかれて今回参加させていただきました。部門ごとに情報の種類も様々で、正確な情報が短時間で共有されれば業務の効率化が確実に図れると考えているのは自分だけでないということが分かり、それだけでも参加して良かったです。ガイドライン作り、Q&A集、困った事例研究などあればいいのかもしれない。</p> <p>と同時に「不機嫌な職場」にならない聞きやすい雰囲気づくりが一番で、今回のような話し合いの場こそ非常に有効だと思いました。運営スタッフの皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>情報共有化として、日常から自身を取り巻く情報を扱うにあたり、その情報の「目的」、「内容」、「対象」を意識することの重要性を改めて感じた。サービスの提供を受ける側からは、個々の職員ではなく横浜国立大学として受け取られることを認識しなければならず、そのためには、一層の情報共有化を図らなければならない。</p> <p>職員個々の活動→組織化→組織の活性化。この「→」印が示すのは全て“情報の共有化”であると言える。特に組織の活性化のための状況共有化とは、組織間の隙間を埋める事であろうと考えた。具体として、今まで以上に我々職員が連携を深める手法を身近なところから考えたい。(とりあえず職員間の連携を深める第一歩として、職員レクリエーションなどの学内行事についても、部内からより多くの参加者が出るよう声掛けなどを行いたい。)</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>初めて参加させていただきましたが、参加者を見渡したところ、正直、名前を存じあげない方も多くてびっくりしました。</p> <p>冒頭に、事務局長から常勤・非常勤を問わず、職員同士が顔見知りになって一体感を培ってほしいとの抱負と、判別討議においての意見でも、話したことがある人にはちょっとした事でも質問しやすいという意見が数多くでたことを受けて、職員間で知合いの輪を拡げることが組織全体の仕事を円滑にする効果をもたらすことに改めて気づかされた。</p> <p>情報の共有化が重要だという認識を多くの参加者が共有していることに勇気づけられたが、改善策について様々な意見については、あまり負担にならず効果があがるものについては、もう少し実施計画を具体化して実行してみるのも良いと思う。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>常勤・非常勤を問わず職員のうち誰もが日々の仕事で感じる問題や改善をテーマとして、コミュニケーションを活性化させることを主眼に据えるとしても、事前に予備知識を課す、或いは他部署や他機関における取扱いや対応事例等の知識や経験を加えて、本学での具体策を補強するなどのフォローアップをして、次につなげられるような仕組みがあれば良いと思います。</p> <p>気軽に参加できることで、参加者を増やし、人の輪を拡げることとのバランスが難しいのかも知れませんが・・・。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>頭は午前中の方が冴えてはいるが、大学全体の業務の都合を考えると午後の方が良いと思われる。曜日は、特に希望なし。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>今回、初めて参加させていただきました。</p> <p>今回のテーマが「情報の共有化」ということで、他部署ではどのような取り組みを行っているのか、興味がありました。</p> <p>私は第一班で話し合いを行っていましたが、いろいろな意見が飛び交い、たまに横道にそれましたが、非常におもしろかったです。</p> <p>楽しく時間を過ごすということは、コミュニケーションが取れていることであり、それが情報の共有化に繋がっていくと思っていますので、運営スタッフの方々は大変かと思いますが、定期的開催していただきたいと思っています。</p> <p>次回以降、可能な限り出席したいと思ひますし、課・係の職員にも「学びのひろば」に興味を示してもらおうよう、話しをしていきたいと思ひます。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>学内にご意見箱を設置し、これはという意見をテーマとして取り上げるのも良いかと思ひます（学生の意見を聞いてみる）。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>非常勤職員で16時までの方もいるかと思ひます。なるべく全員が参加できる時間帯で設定していただけると声をかけやすいです。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>普段、なかなか顔を合わせる機会がない方たちの意見を聞くことができ、大変貴重な経験となりました。</p> <p>どこで（誰に）必要となる情報かを見極め、タイムリーに伝えるということが大切だと改めて実感いたしました。また、話し合いの中で、誰かを「知る」ということも、情報のひとつになるという意見がありました。仕事を円滑に進めるために、そのやりとりの相手を知ることの大切さも実感いたしました。</p> <p>特に、部局の事務については、教員・学生と事務局との間に立つ場面も数多くあり、仲介役の立場も担っていると思いますので、依頼を受ける側、依頼をする側として、正しい情報を受け渡すこと、また双方を「知っている」ことによって仕事を進めやすくすることがとても重要なことだと思いました。</p> <p>業務の中では、やりとりをする部署が特定されがちですが、この学びのひろばでは、あまりやりとりする機会がない部署の方々とコミュニケーションをとれることが、魅力に感じました。</p> <p>仕事での事務的なやりとりはしていても、ひとつの題材についてどうあるべきか、どうあってほしいかを語り合う機会はなかなかありませんので、職員同士の意思疎通を図るうえで、有意義な場であると思います。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今後もグループディスカッションの形態を継続していただきたいと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>曜日は特にありませんが、午後が良いです。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>① 第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>各班の発表を聞いて情報の共有化に対する意見として、『業務の効率化』、『モチベーションの向上につながる』と、多くの班で意見が一致していた点が興味深かった。</p> <p>自分たちの班ではまったくでなかったが、いくつかの班ででていた職員総覧のようなものを作成するといった意見やミーティングを行うといった意見はユニークで面白い発想だと思った。全ての意見をそのまま実現することは不可能に近いが、目先の実現できる・できないに捉われず、こうした意見を積み重ねていくことが大切だと思った。</p>
<p>② 今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>2時間30分という長さは業務への影響を考えればやや長い気がした。発表という形式を取って、議論がやや小さくまとまってしまった感があった。</p>
<p>③ 参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>曜日によって業務が変わるわけではないため、時期による。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が共有化されていないことにより、みなさんが具体的にどんなことで困っているのかを聞くことが出来て大変参考になりました。 ・「なぜ情報の共有化が必要なのか」「具体策」「効果」など、まとめるべきポイントが最初に提示されていたのが良かったと思います。漠然と話し合うよりもスムーズに議論を進めることが出来ました。
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営スタッフの方達が持っていらっしゃったような参加者一覧表を配っていただけると助かります。 ・総務系・会計系など同系統ごとに分かれて話し合うという案が良いと思います。
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中 等</p>	<p>決まった曜日や時間は特にありません。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>業務を遂行する上で必然的に行われていた様なことなのに、あらためて認識が薄れてきている、違っていることに気付かされました。伝達技術（電話、郵便、FAX からメール、IT 全般）が進歩したことに伴った、新たな課題という印象でした。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>30分または45分程度で小休止を入れて頂けると、思考にメリハリが出るように思いますので、ご一考下さると幸いです。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>月曜日、午後</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p> <p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>平成22年度第2回「学びのひろば」に参加をさせて頂きました。前回よりも若干ですが参加人数が増え、また新しい顔ぶれの方々とのグループ討議をさせて頂き、楽しい時間を過ごさせて頂きました。</p> <p>今回は「情報の共有化」というテーマが設けられてのグループ討議となりました。テーマに関する感想は以下の通りです。</p> <hr/> <p>「情報」とは何でしょうか。一般的には「知識の入手・伝達」というようなイメージで捉えられます。</p> <p>しかし、ここで捉えるべき「情報」とは、YNUというネットワークの中で、教職員および学生が「共通の言語・共通意識を持つことによって、共通のレベル・共通の立場で会話ができること」だと思います。</p> <p>そして「共有」とはそのYNUネットワークを利用していく環境に身を置き、活用していくことだと思います。</p> <p>つまり、YNUというネットワーク環境の中で働いていることが広い意味で、すでに情報を共有していることだと私は思います。意識をして「情報共有」というものに特化しなくても、日頃の様々な業務を通じて、それぞれが必要な情報を的確に入手し、活用しているはずで</p> <p>YNUの全ての情報を頭に入れておく必要はなく、YNUネットワークに身を置くことによって、必要なときにいつでも情報を入手できる業務環境を整えておくことが重要です。</p> <p>それでは、今回のテーマ課題として「情報の共有化」を挙げられたのには、どこに意味があったのでしょうか。</p> <p>それは多くの職員が「個立した業務」「問題があったときの業務の対処法が分からない」「うまく引き継ぎができていない」「上司や同じ係の方とうまく話せない」「上司の方と話す機会が少ない」等の思いを少なからず心のどこかに持っているということではないでしょうか。それが、「情報の共有ができていない」「意思が伝わってこない」という言葉に置き換えられ、課題視されているのだと感じています。</p> <p>それは「情報の共有ができていない」のではなく、「教職員同士の（直接）会話できていない」ところに本来の示すべき課題があるのではないのでしょうか。</p> <p>上記のような思いは、どんなに高度な情報通信機器を使っても、解消することはできないはずで</p> <p>部内、課内、係内での会議を毎週1回定期的に行ったり、週に1回部内で朝礼を行う</p>
---	--

	<p>などの積極的なコミュニケーションの実践が急務であると思います。</p> <p>教育の現場で働く職員として大切なことは、多くの関係者といかにかしてコミュニケーションを取っていくかです。教員と職員、職員と学生間など、教育の場において、あらゆる場で多くの会話が活発に飛び交っていることが、本来あるべき姿のはずです。それぞれの部署や立場によって話す相手や話す頻度は異なりますが、学生、教員、職員、その他大学に來校された関係者の方々とのように接していくかが大学作りにはとても重要です。</p> <p>先日行われたビジネスマナー研修でも講義がありましたが、基本的な挨拶から日常の会話に至るまで、様々な場面で多くの方々にアプローチをする機会が誰にでもあるはずで</p> <p>そのような機会をそれぞれの職員がどのように生かしていくかです。</p> <p>会話によるコミュニケーションを心掛けていくことで、価値観や性格、熱意、誠意が相手に伝わっていくものです。</p> <p>会話の中からこそ、豊かな人間性やパートナーシップは培われていくはずで</p> <p>教員・職員・学生が三位一体となつてこそより良い大学は成り立ちます。</p> <p>この学びのひろばは、多くの職員と様々なテーマでブレインストーミングを行い、より良い大学作りを考えていく、とても素晴らしいものです。</p> <p>今後、もっと多くの参加者の下で学びのひろばが継続的に行われていくことを希望します。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>検査対応等の業務が入っていなければ、いつでも参加可能です。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>はじめて会った方々とお話できてとても有意義でした。 テーマの興味のある内容でした。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>後期の授業が始まると学務系窓口はなかなか参加できなくなるので、できれば学生のあまりこない午前中に開催してもらえると参加しやすくなるかと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>午前中。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p><u>発表でもありましたとおり、今回のテーマに対して、第2班が考えた結論が情報共有化は業務効率化、合理化、迅速化などを行う上では必要なことだと考え、これまでも様々なデータ、マニュアル、スケジュール（サイボウズ）など共有化はある程度行われてきた。（今後必要なものもある）</u></p> <p><u>しかし、その共有化された情報を作成すること事体が目的になり有効に使用できていないことが多くソフト面（使用者側）の情報共有（マニュアルを理解する基礎知を共有することや使用者の立場になった分かりやすい共有情報をするなど）も重要なことだと考えました。メールなどのソフトも情報共有の方法の一つではありますが、相手がどのようにとらえるかは分からないため、相手立場になって分かりやすく伝える、相手がどのような捕らえ方をする人間なのかよく知る、メールだけの情報とは別に直接話しをするなどコミュニケーションをとることが重要という結論になりました。</u></p> <p><u>その意味では学びの広場自体がコミュニケーションツールであることや課題に対する考え方をどのように組み立てていけばよいかなどを体験するにはよい機会でした。</u></p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>① <u>様々な部署の職員が参加しているため、班内で1人か2人普段どのような業務を行っているか他部署の人に知ってもらい、その上で他部署とつながっている部分がどこか（その後他部門ではどのように業務が流れているかつなげるのもいいかもしれません。）聞くだけでもよい機会になると思います。（ただし、業務内容紹介の中で困っていることなどなければ、発表形式には合わないかもしれません。）業務内容のフロー図のようなものを書いていくのもいいかもしれません。</u></p> <p>② <u>私学の職員の方に分野別でどのような業務を行っているか（財務であれば予算編成や配分管理など）、具体的に班の中に入って説明してもらい質疑していくことによりお互いの違いやよい点を取り入れることができるかもしれません。（私学でなくても国立同士でも大学間の違いとして面白いかもしれませんが、研修出張のようになってしまう可能性があります。）</u></p>

③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等	<u>特に無し。</u>
--------------------------------	--------------

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>非常勤職員という立場上、こういった場に参加することがほとんど無いため、大変貴重な機会となりました。 ありがとうございました。</p> <p>今回のテーマ「情報の共有化」について、班別の話し合いにおいて、私も実例・問題点を言わせていただきました。 各班の発表を聞き、参加者みなさんが同じような事を問題と 考えていた事が分かりました。提案された改善策が生かされ、 実現され、よりよい職場環境になるよう自分自身も意識して 仕事に臨みたいと思います。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今後「学びのひろば」が継続して行われる時に、いつも 同じメンバーが参加しているような状態にならないように なることを望みます。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>繁忙期以外であれば曜日は問いません。 時間帯は午後の方が参加しやすいです。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>私が今回の「学びのひろば」、「情報の共有化」というテーマで議論したことを通して最も関心を持ったことの一つは、なぜ今「情報の共有化」ということが各所で話題になり、その必要性が論じられるのかという根本の問題にあります。私の班の議論では、昔は意識的に情報を共有しようとしなくても自然にできていたことが、色々な情報に関するサービスの普及、便利さの拡充により、それを意識的にやらなければ共有できなくなってしまったのではないかという意見があがりました。少し大げさに言えば、昔は当たり前できていたので「情報を共有する」という考え方自体をしなかったのが、今では個々人の情報リテラシーや置かれている環境などに大きな差異が生まれ、結果として意識的な「情報の共有」が必要になったのだと思います。話がやや大きくなりすぎましたが、そのことから見えてくるのは、相手の立場に立ってかけられる手間は惜しまずしようとか、なんでもメールで済まさずに電話や直接顔を合わせて話そうとか、そういった何気ない日々の仕事に対する姿勢についてです。便利さに安住して勝手に情報を共有していると思込まず、丁寧に相手に情報を伝えることを心がけたいと感じました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>確かに今回のテーマであった「情報の共有化」を促進させていくために、「学びのひろば」のような他部署の方々との交流は有効な手段だと私も思います。今回は若手職員というよりも係長級ぐらいの方々がかかり多く参加されていて少々物怖じしましたが、もう少しカジュアルな気持ちで参加できる機会も含めて、今後も他部署の方々との交流できるような「学びのひろば」に期待したいと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>正直なところ突発的に忙しくなることの多い係ですので、何曜日というふうには答えにくいですが、月曜日に関してはほとんど出席できないと思いますので、その点だけご報告いたします。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>色々な立場から、色々な年齢・経験の立場から多くの参考となるお話を聞く事ができてよかったと思っております。 今回の「学びのひろば」で聞く事ができた多くの話を参考に情報の共有ができるよう実行していきたいと思いました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>同じ顔触れになるのではなく多くの方々の参加が可能になるよう運営スタッフの方々だけではなく、参加した者からも参加への声かけができ「学びの広場」が続けられ、「学びの広場」へいけば今の業務の悩みの解決案が多く立場から聞けるかも・・・といったたよられる「学びの広場」となることを期待します。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>水曜日、木曜日の午後</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>初めて参加したのですが、さまざまな職員の方と接することができ、さまざまな意見を聞くことができたのでとても勉強になりました。とくに、自分は学務系なので、あまりなじみのない話だったのですが、総務系など対教職員の仕事をする場合、大学にあるさまざまなセンターに資料を送る場合に、どこに送ればいいのかわかりにくいなどの問題があることを知り、とても勉強になりました。また、仕事が多様になりつつあるので、一つの単語で、関連部署が検索できるというシステムがあれば便利という話が、自分の班ででたのですが、そのようなアイデアが考え付きもしなかったので、とても参考になりました。学務係にいと、大学という組織自体をあまり理解できないので、単語一つで関連部署が検索できたりすると、ある程度ネット上で大学の組織について勉強できたりもするので、とても役に立つと思いました。また、いくらネットが使いやすくなり、必要な情報が必要なときに手に入るようになっても、最終的には職員総覧の作成などの案にもありましたが、職員一人一人が近くに感じられるような方法が大切だと痛感しました。そのような人との出会いでも、学びの広場はとてもすばらしい機会だと感じました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回、はじめて学びの広場に参加したのですが、前回の議論を踏まえての議題だったため、少し戸惑いを感じました。前回参加していた同じ班の方が、前回の各班の簡略な発表内容をメモしてきて、それを教えていただいたため、わかりやすかったのですが、できれば、参加前に前回の資料などを見る機会などをいただければいいなと思いました。また、参加はできなかったけど、学びの広場の議題に興味があるという人が、自分の周りにいたので、そういう方にも、どのような議論があったかを、見れるような機会がいただけたらいいなと思いました。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>教育人間科学部は、水曜日に教授会など、会議を入れることが多いので、水曜日の参加はむずかしくなると思います。また、学務係は、曜日というよりは、時期で忙しさが異なるので、水曜日以外で特に参加しやすい、参加しにくい曜日や時間はあまりないと思います。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>情報の共有化については、各班から様々な意見が出て参考になりました。特に、単なる情報だけでなく、どのように仕事（作業）を進めるのか・どこに尋ねるのか等のノウハウについても共有出来たら、という意見にはとても共感しました。</p> <p>また、普段からのコミュニケーションが大切、人間関係・信頼関係を築くことが出来ればより良く働けると皆さんが考えていることが分かって良かったです。</p> <p>「学びのひろば懇親会」のような会がもし開かれるのであれば、参加したいと思います。（非常勤職員も出席可として頂ければ幸いです）</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>もう少し開催時間が短いと出席しやすいかなと思います。</p> <p>色々な部署の方が集まっているので、同じ班以外の方とも話してみたいと思いました。そのような自由歓談時間があると良いなと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>月～金 10:30～15:00</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>今まで職員が集まって意見を出し語り合うような会に参加したことがなかったので、個人的には目新しい限りだった。メンバーの多さ、しかも知らない人ばかり、広い会場…と自分にはずいぶんと敷居が高いというか苦手要素満載であった。が、グループ分けの人数が適当だったり、みなが積極的・ざっくばらんに意見や普段の様子を語ったりと比較的短時間で慣れることはできた。</p> <p>幸いなことに普段から自分の業務について強い不満はないが、些細なことだがもっと使い勝手がよくなればいいのにと思うことがしばしばあった。実はみな同じように思っていたようで、それを中心にアイデアを出し合えたと思う。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>単純に、知り合いが増えるということが、円滑な業務の要素のひとつなので、ひろばがそういう意味も持ちつつ今後も発展できたらいいと思う。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>特になし</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>私は普段は工学事務棟におり、他部局の方々と顔を合わせてお話を する機会があまりないので今回の会はとても有意義でした。職員同 士がお互いに顔を分かった上で仕事ができると、より横浜国立大学 が1つのチームとして動いていけると思います。</p> <p>話し合いは運営の方が、みんなからの意見を促しスムーズに進行で きていたと思います。初対面の方ばかりでしたが様々な意見を聞く ことができよかったです。</p> <p>最後に班で話し合った結果を発表しましたが、こういった機会があ まりないので貴重な体験になりました。何度か経験して慣れていか ないといけないと思うので、また機会を設けていただけるとありが たいです。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>より多くの職員と交流するため、できるだけ毎回異なるメンバーで 話し合いをしたいです。</p> <p>また今回は人数が大変多かったので、遠い場所に座っている人の意 見が開き取りにくいときがありました。もう少し距離をつめてもい いと思いました。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午 前中 等</p>	<p>火・水・木の午後</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>今回は「情報の共有化」という明確なテーマがありましたが、各自の「情報」「共有」のとらえ方に違いがあり、討議で幅広い意見がありました。</p> <p>「情報」といっても、規則や様式などのルールや、その時限りのホットな情報、ノウハウなど、たくさんの種類があること、「共有」にも、Web上での公開、メールでの伝達、生のコミュニケーションなど、様々な方法があることに気づきました。</p> <p>様々な「情報」を、その時々合った形で、必要な人に伝えていくことが大切ですが、なかなか難しいと思います。</p> <p>まずは自分から、積極的に情報を発信していくこと、また、質問に快く丁寧に答える姿勢、自分から必要な情報を取りに行く姿勢を身につけたいと思います。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何回かを通して、誰でも1回は前に立って発表できるようにすると良いかと思います。発表をしてみることは緊張しますが、良い経験になると思うので。 ・議論された中で出てきたアイデアを、ぜひ実現に向けて検討してほしい。(今回でいえば、朝礼の実施など)
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>できれば水曜日を避けていただけるとありがたいです。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>○参加者がとても多くて驚きました。また、様々な部署・役職の方々と知り合いになれたこと、いろいろな部署の実情を知ることができたこと、多様な考え方に触れることができたことによって、新たな人脈・知識が得られ、大変役立ちました。</p> <p>○発言する際に、自分が話しすぎると、その発言が結論になってしまったり、若手の方々が萎縮してしまうのではないかと考えてしまいました。所属した班の若手の方々が生き活きと発言してもらうための雰囲気をつくることへの力量のなさを痛感しました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>○小グループでの議論の際に順番に発言していると時間が足りなかったり、同じ意見があっても有機的に議論ができない場合もあるので、例えば、議論するテーマについての考えを簡潔に付箋紙に書いてもらい、同種の意見を集約しながら、まとめにつなげていく手法を活用してはどうかと思いました。(大教センターのFD推進部会で実施している研修にノウハウがあります。)</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>各月の第4週の月・火の午前中は定期的に会議があり、参加が難しいです。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>自分は横の情報共有（係内・係間など）について他の方々のエピソードを聞きたい部分があったのだが、班の話の流れが縦の情報共有（事務局⇄部局など）に関することが主になった。それはそれで参考になったが、意見をまとめて発表するという前提のため話題を変えづらかったので、話ができない部分が残り残念だった。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>短時間のミーティングで結果を発表しなければならないとすると、どうしても模範的で無難な結論を出そうとしがちになってしまうので、1回ではなく複数回かけて同じグループで意見交換をしたほうがくれた意見を出し合いやすいのではないかと。 また、その形式だと各メンバーが自分の部署の人から聞いた意見なども次の回でフィードバックできたりしていいと思う。 (自分の部署に課題を持ち帰らせるのも部署内での交流の一助になる)</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>とくになし</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>多くの人々による、様々なご意見を伺うことができ勉強になりました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>1回あたり90分にしてほしい。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>どんな情報を共有したいのか、その情報は自分から他人に伝えたいものなのか、或いは他人の持っている情報を教えてもらいたいのか、等など場合分けして考えてみると、意外と奥の深いテーマだったと思う。そして、それぞれに解決方法も違ってくる。</p> <p>係内の人が今抱えている仕事を把握するとか、学内通知文を漏れなく回覧するなどは、通常業務の枠内で工夫できそうだし、部長連の報告事項を聞くといったトップダウンの情報は組織として連絡する手段がある。しかし、学外者から問い合わせを受けやすい学部新設の詳細や、図書館の入館者数に影響を与える院入試の日程などは、部局間の平社員レベルの連絡が密ではないために伝わりにくい。そういった情報を仕入れたいときに、ウェブサイトを見るのは一人でも何とかできるけれど、それでも分からなくて事務室に電話を掛けるには、座席表を見て誰か知っている人がいないかを探ったり、いきなり係長席に掛けるのは気が引けるので係員の人らしい電話番号を探してみたりする。でも一度顔見知りになってしまえば、財務部で余っているクリップや広報係の裏紙を貰ってきて自称「部局間モッタイナイデー」などもできる。そこまでの敷居を少しでも低くすることが、「学びのひろば」の役割かもしれない。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>どなたか5分か10分程度でいいのでミニレクチャーをしてくれたらいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者でもよく分かる今期中期目標・中期計画のあらすじ ・窓口担当者必聴！国際交流係村上さんによる英語対応のコツ講座 ・今さら聞けない事務文書の正しい書き方～講師は法規係田巻係長みたいなノリのものがあると思う。 <p>(すみません、勝手に書きました。)</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>10:15～11:45</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>通常業務での職員間の連携では、広くても工学研究院内の他学科職員との連携に留まっていた。しかし、学びの広場では工学系職員から見ると異なる職場環境下の職員さんとの意見交換を行う場がもてた、ということが想像した以上により成果であった。(日頃、職員よりも研究室や学部の学生と接する機会の方が多いため、職員だけの空間は圧倒された。)</p> <p>今回のテーマ「情報の共有化」については、皆同じ考えを持っていたり、実践していることが確認できたが、大学全体の情報の共有化までは至っていないという現状もある。しかし、それは「情報の共有化」を進める上で必要となる各部署間のコミュニケーションをさらに広げることで改善できるのではないかと感じた。そもそも、成果発表において具体例がいくつか挙げられ、どれも実現の可能性があるものばかりである。しかも、各部署の職員が参加しているためコミュニケーションが取りやすい。もしかすると「学びのひろば」で「大学全体の情報の共有化」を進めることが可能ではないかとも思う。(「学びのひろば」発のプロジェクト!?)</p> <p>情報の共有を行う上で必要となるシステム面では工学系の職員で準備・調整することができるため、少しでも「大学全体の情報の共有化」を進め、よりよい職場環境を作りたい。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>「情報の共有化」というテーマは非常によかったと思う。しかし、「情報の共有化」という「通常の業務」ではない事と敬遠されるケースもあるように思う。実際に進める上で、どのように進めていけばいいのか、少し掘り下げてみる必要があるのではないかと思う。</p> <p>他には、今回の意見交換で強く感じたことだが、他部署のことを知らないという現状がある。そのため、部署間のコミュニケーションを強めるという意味でも、単純に特定の部署について知る機会(○部署に対する百問百答など)を設けるのも良いと思う。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>工学研究院の技術系職員の場合、火～金は学部生向けの実習があり、学科ごとに曜日が異なる。また、月曜日の午後は工学研究院の先生方の会議があるため、月曜日の午後が比較的参加しやすいのではないかと思う。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p><u>所属する課では、若手職員がいないため、若手職員の間で感じていることを聞きたいと思い参加しました。</u></p> <p><u>情報の共有化について、8班ではそれぞれの方向からアプローチしていましたが、ハード面での充実もさることながら、どの班も同じ職場の人間間のコミュニケーションの大切さを強調していたことが印象的でした。</u></p> <p>多くの班で、情報の共有化のためのツールとして、ミーティングや交流会、そもそも「学びのひろば」自体が共有化であるとの意見等が出されたことから、お互いをよく知りたい、交流する機会を求めていることがわかり、<u>溝口副学長、竹下事務局長が部局の若手職員と懇談し、若手職員の孤立感を感じたというお話がよくわかりました。</u></p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回は、2時間半であったが、時間的には1時間半くらいが適当と思う。</p> <p>人数は4班くらいが適当と思う。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p><u>火曜日午後</u></p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>・私は、平成22年7月1日付で理工学部等設置準備事務室に配属され、来年4月1付で設置予定の理工学部と、大学院都市イノベーション研究院の発足準備に関する仕事をしています。</p> <p>今のところ、私の主たる業務は、理工学部及び大学院都市イノベーション研究院の規則（案）を作成することです。</p> <p>そのため、工学部や環境情報研究院、学則や横浜国立大学の規則を参考に、各部局の規則の違いを比較する必要がありました。その作業にサイボウズを入り口とした、「横浜国立大学規則集」を活用できたので、とても役立ち、作業時間の短縮ができました。</p> <p>・5班では、そこから、「使える形で情報の見える化」をすることが重要であるという話の流れになりました。</p> <p>その上で、「業務連携・協力のために、足を運び、顔を見ながらするコミュニケーションも、基本として、重要である。」という結論に達しました。</p> <p>・終わってみて、情報交換や、関係づくり、業務効率化の工夫等のために、「学びの広場」は良い機会となると感じました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>夏季休業期間等、業務に時間的な余裕がある時期に開催されれば、また、参加したいと思います。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>来年4月の設置準備に向けて、今後、急な会議や、至急の仕事が増えると考えられるので、予測できません。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想	特にありません
②今後の「学びのひろば」への要望	特にありません
③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等	特にありません

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>私の班（3班）を含め、どの班も同じような意見が出ていたので、みなさん抱えている問題は同じなのだと思います。私一人では思いつかない考えや意見が聞けて、とても勉強になりました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>1回目の時のように、1つのグループが少ないほうが話しやすいように感じました。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>月末や上旬は参加が難しいです。</p>

● 平成22年度第2回「学びのひろば」アンケート

<p>①第2回「学びのひろば・情報の共有化」についての感想</p>	<p>自分も含めて、みなさんが、同じ情報をもっていれば仕事し易いと感じていることがあらためて今回の研修で共感しました。</p> <p>また、運営者の田島氏の仕切りのもと、第1班は、「なぜ、情報の共有化は必要か。」「なぜ、情報の共有化がうまくいかないのか。」「情報の共有化がうまくいく解決策はなにか。」「情報の共有化がもたらす効果」など、テーマを決めて、意見を出し合い、最終的に、「学びのひろばに参加しよう!」、そして、「いろいろな人をコミュニケーションを取る。」、そして「相談しやすくなる」などの結論まで意見が収斂され、とても有意義な研修と感じました。</p>
<p>②今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>例えば、2回シリーズにして、1回目の最後に、課題なり、宿題を出して、日頃から実践をし、その実践の状況や成果や反省点を2回目の学びのひろばに持ち寄って、話し合ったら、この研修の効果が実践的に身につくようになり、学びのひろばの存在がよりクローズアップされ、他大学の先駆けとなるかもしれません。</p>
<p>③参加しやすい曜日、時間 Ex) 火、水、木の午前中等</p>	<p>全学からの参加を募っている学びのひろばの場合、あらゆる部署から参加があるが、部署ごとに、それぞれのスケジュールで業務が遂行されているから、ある特定の曜日や時間がいい、とは言い切れない。全学から参加が可能のように、1年間のうち、予め、研修用にスケジュールをいれない日時を数日分、あえて設定すればいいと思います。</p>